

発明の名称	哺乳動物の胚処理方法及び胚
発明の概要	本発明は,近赤外領域の光を受精卵に直接照射することで,受精卵の品質や生存性を向上させるものである。光を利用して,受精卵の品質を改善させる技術はこれまでに存在しない。従来技術と比較して,容易に品質良好な受精卵を作出できる。
対象業種	近赤外光の照射装置メーカー,顕微鏡メーカー,培養機器メーカーなど
実用化が見込まれる分野	畜産分野(家畜の生産効率の改善),生殖補助医療分野(ヒト不妊治療成績の改善),その他の動物分野(実験動物の開発:希少動物の保護)が考えられる
出願番号	特願2016-015011(優先権主張)
出願日	2015年2月10日
公開番号	特開2016-146823
発明者	横尾 正樹
出願人	秋田県立大学



お問い合わせはこちらまでどうぞ。地域連携・研究推進センター

秋田市下新城野字街道端西241-483 TEL:018-872-1557 FAX:018-872-1673

